

記載例

別記様式第5号 (表) (第23関係)

① 年 月 日

② 消防署長 殿

住所

電話

氏 名

動 産 り 災 申 告 書

[illegible]

⑨

[illegible]

【動産り災申告書記入要領】

- ① 申告日（提出日）を記載する。
- ② 管轄消防署名を記載する。[（管轄消防署検索についてはこちら）](#)
- ③ 申告者の住所、職業（又は役職名）、氏名及び電話番号を記載する。
- ④ 火災があった年月日を記載する。
- ⑤ り災物件と申告者との関係について当てはまるものを○で囲む。
- ⑥ り災場所の所在を記載する。
- ⑦ 世帯員について記載する。
- ⑧ 加入している火災保険について契约会社別に万円単位で記載する。
- ⑨ り災した物件についてについて下記により行を詰めて記載する。
 - (1) り災した物件の品名ごとにまとめて1行に記載し、り災した物件の数量を記載する。
 - (2) 当てはまるり災別を○で囲む。

焼損 : 火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど

爆発 : 爆発により、壊れたものなど

その他 : 消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す際に壊れたものなど
 - (3) 損害見積額又は購入時価格のいずれかを記載し、損害見積額は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により損害額を見積もり点線の左側に円単位で記載する。

なお、エスカレーター等の点検料やスプリンクラーのヒューズ代、消火器の詰め替え代等は損害として記載しない。
 - (4) 損害額が見積れない場合は点線の右側に使用年数と円単位で購入時の価格を記載する。
 - (5) 2ページ以降は別記様式第5号の2に記載する。